

3月定例教育委員会資料	
年月日	令和7年3月24日
担当課	教育総務課校区審議室

説明・協議事項（１）

気高地域新設統合小学校整備について

1 気高地域の新設統合小学校整備の現状について

現在、気高地域学校統合準備委員会（令和7年2月10日に第1回、3月18日に第2回を開催）において、気高地域新設統合小学校整備のための基本構想・基本計画（案）を議論いただいています。

基本構想・基本計画とは、設計のもととなる、新設統合小学校の整備に関する基本的な事項や方針を示し、今後の設計の指針となる基本的な考え方を定めたものです。

作成にあたっては、学校統合準備委員会の意見を可能な範囲で反映し、充実した教育環境となるよう事業を進めてまいります。

2 施設整備検討の進め方について

	令和6年度		令和7年度			令和8年度			
	3月	4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～
施設等整備	基本構想・基本計画作成 業者選定手続き等 基本設計・実施設計								
	意見	意見	最終確認			意見			
学校統合準備委員会	第2回(3/18) 第3回(5月) 第4回(6月) 学校統合準備委員会								
	施設について								
	通学方法について								
	放課後児童クラブ・放課後子ども教室について								
	広報紙作成								
その他会議	放課後児童クラブ・放課後子ども教室について 【詳細を検討】								

〈基本構想・基本計画作成時〉

- ・第2回委員会（3/18）…教育委員会が作成した基本構想・基本計画案を示し、各委員よりご意見をいただきました。
- ・第3回委員会（5月）…第2回の意見のうち反映可能なご意見については修正します。この修正案に対し、再度ご意見をいただきます。
- ・第4回委員会（6月）…再度の修正版を示し、ご確認いただきます。確認後、教育委員会内の手続きを経て、基本構想・基本計画を確定します。

〈基本設計時〉

- ・事業が進み、基本設計業務の中で施設配置等の案が作成された段階で、統合準備委員会に案を示しご確認いただきます。ただし、意見反映過程の詳細については、今後決定する設計業者等と検討のうえ決定していきます。

3 これまでの経過について

令和5年 4月	新設統合小学校についての基本方針決定（【決定内容】学校種・学校候補地）
11月	事前調査業務（測量、地質調査、予備設計業務）を実施
令和6年 3月	事前調査業務報告書を収受する
4月	第2回気高地域の新設統合小学校に関する検討委員会
6月	気高地域振興会議から市長に「気高地域の新設統合小学校建設に係るまちづくり構想について(意見書)」が提出される
9月	9月定例教育委員会で学校予定地として決定
10月	埋蔵文化財試掘調査開始（同年12月調査完了）
12月	「鳥取市気高地域新設統合小学校用地買収・造成事業」関連議案可決
令和7年 1月	気高地域振興会議開催
令和7年 2月	第1回気高地域学校統合準備委員会開催
3月	第2回気高地域学校統合準備委員会開催

鳥取市気高地域新設統合小学校整備 基本構想・基本計画(案) 概要

○施設のコンセプト

・子どもが生き生きと学び活動できる充実した学校環境

→トイレの洋式化・乾式化、特別教室を含めた各教室への空調整備等

・防災を意識した安全・安心な学校づくり

→浸水を想定した建物基礎高、マンホールトイレ、かまどベンチ、バリアフリー化、オストメイト対応、バリアフリースイッチの整備、キュービクル（受変電設備）・室外機の高層化、エレベータの設置を検討

・主体的・対話的で深い学びの実現のためのICT環境の整備・充実

→「鳥取市GIGAスクール構想」に基づく1人1台端末環境等に対応したICT環境の整備・充実

・省エネ化の推進

→費用対効果を踏まえた省エネ化の推進、屋根や外壁の断熱、自然光の有効利用、自然換気、LED化、高効率空調、複層ガラスなどの導入を検討

・地域に開かれた学校

→地域住民も利用することができる多目的教室（多目的ホール）の整備を検討

・維持管理しやすい建物

→維持管理が容易かつライフサイクルコストが縮減できる建物を目指す
セキュリティ対策を意識したゾーニング

・可能な限りの木質化

→コスト等を踏まえながら内装等に可能な限り木材を利用することを検討
柔らかで温かみのある感触や調湿効果による豊かで快適な学習環境を整備

※校舎の構造区分（鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造）については、比較検討要

○主な想定施設

校舎	3階建て 普通教室・特別教室・管理諸室
多目的教室	多目的教室（多目的ホール）
放課後児童クラブ	専用室の設置に加え、特別活動室等との共用を検討する
屋内運動場	屋内運動場
外構等	植栽、フェンス、駐車場、車いす利用者用駐車場（屋根付き）、防球ネット、防火水槽 等
グラウンド	遊具、200mトラック
（プール）	<u>鳥取市立学校プール施設のあり方に関する検討委員会で検討中</u> （中間報告において、総合支所エリアは、公共・民間プール活用の可能性が高いことが示されている。）

○施設の規模

(1) 計画児童数

令和13年度の将来予測児童数（289名）を基準 ※令和6年5月1日現在の将来予測児童数

※同規模の学校：現在の久松小学校・面影小学校

(2) 計画学級数

学級数17（普通教室13＋特別支援学級4）

※鳥取県公立小・中・義務教育・特別支援学級編成基準に基づく学級数の算定

（小学校 普通学級：30人、特別支援学級：7人）

※必要十分な諸室計画とするが、将来的に児童・生徒数が減少することを踏まえ、合理的かつコンパクトに整備していくことを基本

○配置計画

学校予定地の南側に校舎等 建物を配置することを計画



【配置計画理由】

- ・校舎について、東側・西側に配置する場合と比較し、南に面した教室を多く確保可能、教室の前が住宅地に面していない。
- ・屋内運動場について、近隣住宅地に隣接しておらず、夜間休日等の学校開放での利用での影響は少ない。
- ・グラウンドが整形で利用しやすい。
- ・北側・西側に校舎等を配置する場合と比較し、騒音等の西側住宅地への影響が少ない。

○スケジュール

